

第7回身寄りがない方への意思決定支援研修会

講演：『高齢者施設における共同意思決定のあり方を考える』

～身寄りがない方をお受けして見えてきたこと～

事例提供者：介護老人保健施設 池田苑 管理者・看護師 高江洲 恵 氏
主任介護支援専門員 上原 久 氏

○日 時：令和7年3月18日（火） 午後7時00分～9時00分

○場 所：沖縄県医師会・3階ホール

○参加者：39名

【目的】身寄りがない方（家族や親類へ連絡がつかない状況にある人、家族の支援が得られない人含む）が、人生の最終段階においても安心して必要な医療・介護が受けられる地域を目指し、事例に対する考え方についてナラティブアプローチを学ぶ。

【対象】高齢者施設、病院、訪問診療医、訪問看護師、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、行政職員など

サマリー 参加者アンケートの回収率は92.3%、主に看護師や介護支援専門員の参加が多かった。参加者より、「最大限の倫理ができていないか？思考停止していないか？仕事に対する姿勢を振り返る機械になった」、「身寄りがない方への受け入れを断ることが多いので、ご利用者様にとって幸せと思えるような支援をしていきたい」などの感想があり、“身寄りがない”というだけで諦めるのではなく、本人は何を望んでいるのか、様々な視点から本人を中心に多職種で支援していくための考え方の思考が身に付いたと思われる。また、「行政の方がどう考えているのか。是非、研修会に参加していただきたい」という感想もあり、今後は行政も一体となった『医療・福祉・介護・行政』の“真の多職種連携”ができるような研修会を企画していきたい。



講師：金城 隆展 氏



事例提供者：高江洲 恵 氏・上原 久 氏



司会：嘉数 朗 氏



日時：令和7年3月18日（火） 19時00分～21時00分

場所：沖縄県医師会・3階ホール

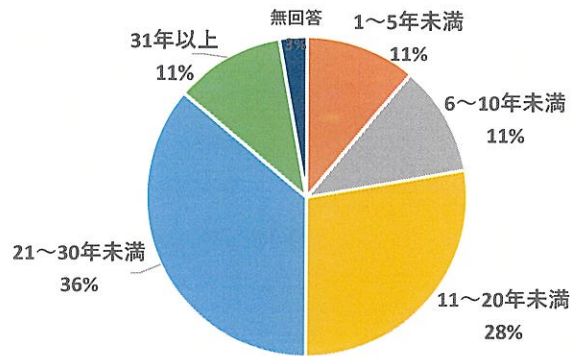
講師：琉球大学病院 地域・国際医療部 臨床倫理士 金城 隆展 氏

参加者：39名

回答者：36名（約92%）

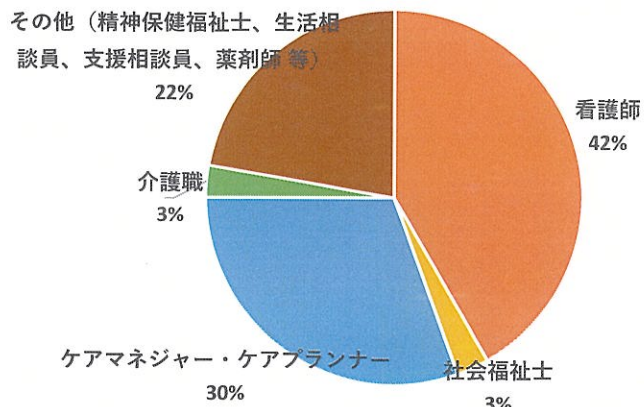
経験年数

選択肢	数	割合
1年未満	0	0%
1～5年未満	4	11%
6～10年未満	4	11%
11～20年未満	10	28%
21～30年未満	13	36%
31年以上	4	11%
無回答	1	3%
計	36	100%



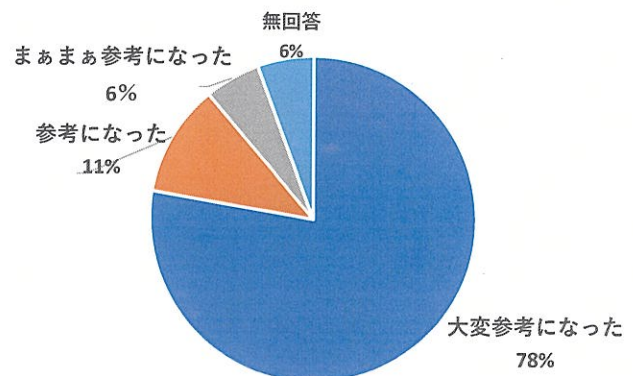
問1. 職種について教えてください。

選択肢	数	割合
医師	0	0%
看護師	15	42%
保健師	0	0%
社会福祉士	1	3%
ケアマネジャー・ケアプランナー	11	30%
介護職	1	3%
行政	0	0%
その他（精神保健福祉士、生活相談員、支援相談員、薬剤師等）	8	22%
計	36	100%



問2. 『高齢者施設における共同意思決定のあり方を考える～身寄りがない方をお受けして見えてきたこと～』（事例提供：介護老人保健施設 池田苑 高江洲氏、上原氏／臨床倫理士：金城氏）は参考になりましたか。

選択肢	数	割合
大変参考になった	28	78%
参考になった	4	11%
まあまあ参考になった	2	6%
あまり参考にならない	0	0%
無回答	2	6%
計	36	100%



問3. グループワークはいかがでしたか。また、全体を通してのご意見・ご感想等をお聞かせ下さい。

- ・自分が最大限の倫理が出来ているか？思考停止していないか？自分の仕事に対する姿勢を振り返る機会になりました。これからも考え続けたいと思います。
- ・老健でのAさんに対しての支援を、職員全員で話し合っており取り組んでいることに感銘を受けました。これからも身寄りがない方が増える中で、このように本人も含め職員全員（関係者）と一緒に考えていながら、支援していく施設が増えてくると良いと思いました。在宅でもそうですが、身寄りがない方への受け入れを断ることが多いです。ご利用者様にとって、幸せと思えるよう支援していく。思考停止せずに考えていくよう、明日からも支援していこうと思いました。
- ・「中間の倫」という考え方の必要性を知る事が出来た。
- ・人数が少ない分、活発な話し合いが出来たと思う。研修に出ているといつも思うことが、行政の方がどう考えているか。ぜひ研修会に参加していただきたいと思うので、誘ってみてほしい。
- ・本人の意思を尊重するという事の大切さを改めて考えさせられた。様々な場面を想定して会議を行っていったというのは大切だと思った。「自分らしく生きる」簡単に見えて難しい。他人に気持ちを伝えることも、他人の意向を汲み取ることも難しい。皆さんの意見に目が覚めました。ありがとうございました。
- ・色々な意見を出し合えて、とても考え方が広がった。とても良かったです。思考停止しない倫理について、ハッとさせられました。ありがとうございました。
- ・最低限の倫理、最大限の倫理、思考停止しないよう常に患者中心に考えていけるよう向き合っていきたい。
- ・グループワークを行うことで様々な考えがあり、勉強になりました。
- ・色々な意見が聞けて良かったです。対応については正解はこれだと言うのではなく、それぞれの施設などで多職種で本人の対応を考える事が大事だと分かりました。この講演を開いていただいて、ありがとうございました。
- ・各テーマに添ったグループワークで沢山の意見が聞け、勉強になりました。金城先生の「中間の生活を目指す」という言葉を初めて聞き、長期で入院・入所している患者さんや入所者さんへの対応が、今までと変えられる様な気がしました。自宅にいた時の様な入院生活が患者さんの幸福に繋がる支援ができれば最高と感じました。ありがとうございました。
- ・色々な意見を聞く事ができ、勉強になった。
- ・今後の居宅支援の参考になった。
- ・池田苑の取組みにとっても共感できました。頼もしく感じています。今日は貴重な事例の提供をありがとうございました。
- ・施設での対応など勉強になりました。思考を止めないで様々なアイデアを出していこうと思いました。
- ・池田苑の取組みを通じて学ぶことが多かった。思考停止しないように生きていきたい。
- ・すごく考えさせられた。
- ・倫理に基づき支援するという事を考えたことがなかったので、大変勉強になった。身寄りがない方を今後は受け入れていかなければならない。思考停止せずに最低限の倫理を超えられるチームづくりが必要だと痛感した。

第7回 身寄りがない方への意思決定支援研修会 ～ナラティブアプローチ～

- ・身寄りがないという事例だけで、これからの時代どうするか・・・とりあえず受けてみるという考えになることが凄くて、まだ未知な体験もしており、不安を持ちながらも施設側でいろいろ話し合い、思考の停止することなく取り組むことは凄いいと思います。
- ・最初は3人グループで同じ方ばかりの発言だったが、途中から6人グループに移って色々な意見が聞けたので良かった。金城先生の話は今後の支援に考えさせられる、活かせると思う。身寄りがないということだけで断らないという意見は良かった。チームを作れば、どうにかなるかもしれない。今後は増えていくと思う。次回の金城先生の講演が楽しみです。身寄りのない方へのガイドラインは知っておこうと思います。
- ・実際の事例（現在進行形）をもとに考える事でイメージしやすかった。
- ・池田苑のチャレンジと対応に只々凄いいと思いました。「本人らしく」「本人らしさ」をしっかり尊重して下さっている事に感動しました。グループワークは各々の視点での意見が聞けて、とても参考になり、学びを得ることが出来ました。ありがとうございました。
- ・身寄りがない、意思決定が難しい事例が増えているが、組織としての取り組みが十分に出来ないため、とても参考になった。スタンダードの支援になるよう、出来ることから始めていき
- ・「考える」「幸せ」様々な意見交換ができて、とても勉強になりました。
- ・最大限の倫理について、とても考えさせられました。ありがとうございました。
- ・これからもっともっと身寄りがない方への意思決定支援が必要な場合が出てくると思ったので、大変参考になった。自宅に帰れないけど、自宅に帰れる途中からの支援でも、本人に少しでも寄り添えることができたら良いと思いました。
- ・毎回大変勉強になります。ありがとうございました。
- ・多職種との連携の必要性を考え（最低限の倫理、最大限の倫理）、思い込みで話すのではなく、思考を考えていくことも大切（違いを嘆くのではなく、互いに助け合うこと）皆さんの意見を聞けて、考えさせられることが多々ありました。今回の企画に参加できたことに感謝です。ありがとうございます。
- ・最低限の倫理→自分を守る→幸せになれない、最大限の倫理→チーム多職種連携
- ・他施設のスタッフ、多職種とのグループワークは色々な意見が聞けたので、すごく貴重な体験でした。ありがとうございました。
- ・様々な職種の方の経験、意見が聞けて勉強になった。できないと決めつけてしまうのではなく、どうしたらできるのかと考えていきたいと思いました。
- ・身寄りのない方、家族がいても頼れない方が増えているので、とてもタイムリーなテーマで勉強になりました。施設の取り組みが素晴らしく、一緒に悩みながら考えていくことを続けていきたいです。書籍化とかあれば購入したいです。うちのスタッフで取り組んでいきたいです。皆で考える事ができたのが大きな学びでした。ありがとうございました。
- ・身寄りがない方への意思決定について、たくさんの議論ができて良かった。最低限の倫理に目を向けがちですが、実際に老健で利用者に対して諦めないケアをしていることに、只々感動しました。明日からの業務頑張りたいと思います。